

# ことし えと うま 今年の干支 馬について

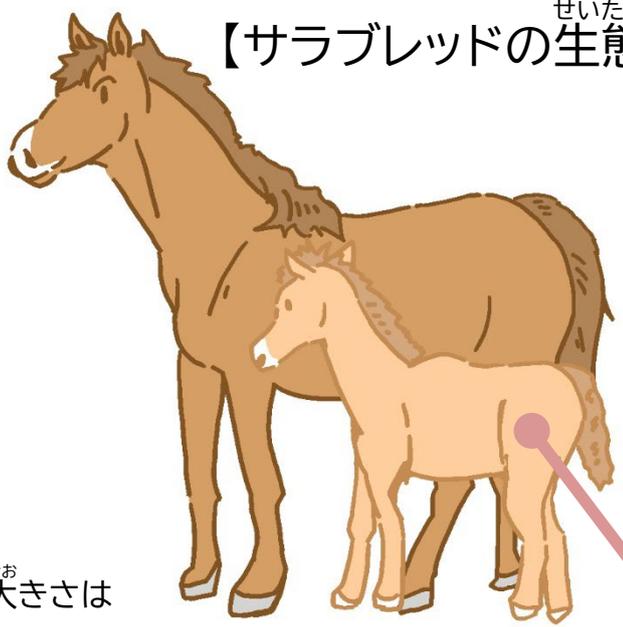
あけましておめでとうございます。今年、2026年は午(ウマ)年ですね。馬は昔から人の暮らしにとって、身近な動物でした。今回は馬(品種は競走馬のサラブレッド)の生態について、紹介します。



わめい 和名:ウマ  
えいめい 英名:Horse  
がくめい 学名:Equus caballus  
ぶんるい 分類:哺乳綱奇蹄目ウマ科

しぜんぶんぷ 自然分布は南ロシア~ヨーロッパで、日本には5~6世紀に移入されました。

## 【サラブレッドの生態】



## 【走る速さ】

競走馬として鍛えられた大人の馬は、人を乗せて、時速60~70kmものスピードで数分間走ることができます。

## 【体の大きさ】

大人のサラブレッドの標準的な大きさは体高(人間でいう身長)が160~170cm、体重は400kg~500kgといわれています。

## 【仔馬】

大人のメスは秋頃に発情し、毎年1頭(まれに2頭)の仔馬を春~夏にかけて産みます。仔馬は産まれてから1時間程で立って歩くことができますようになります。草食動物である馬は肉食動物の外敵に襲われないために、生まれてからすぐに走ることができるようになります。考えられています。

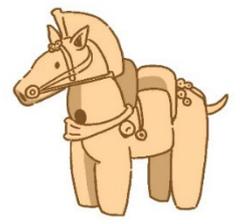
## 【食べ物】

草食動物で、主に草を食べます。にんじんは主食ではなく、おやつです。



## 【日本と馬の歴史】

島国の日本にはもともと馬は存在しておらず、モンゴル高原から朝鮮半島を経由して日本に持ち込まれたと考えられています。過去の歴史をみると、5世紀~6世紀の古墳から馬の埴輪や馬具、馬の骨等が出土していることから、身分の高い支配層を中心に、馬が広がっていったと考えられています。



古墳から出土した埴輪馬

## 【絵馬の由来】

かつて馬は君臨する支配者の象徴であり神々の乗り物として神聖化されました。高い身分の人は神様(神社)に馬を奉納しましたが、財力の乏しい庶民には馬そのものは難しく、代わりに土や藁で作った馬の人形を神社に奉納するようになりました。それが簡略化して、現代の板に願い事を書いて奉じる「絵馬」の起源になったといわれています。



合格祈願の絵馬

# うま まい まやもうで 馬とお参り？ 摩耶詣とは

「自然と生き物の色々な話」2025年の7月にも登場した兵庫県神戸市灘区の摩耶山には『摩耶詣』という江戸時代から明治時代まで続いた馬にまつわる慣習があります。それは、旧暦2月(現在の春頃)初午の日に摩耶山頂の天上寺に馬と一緒に参拝し、飼い馬の息災を祈願するというものです。当時、馬は人間にとって身近な存在であり、摩耶山には参拝用の馬道もありましたが、明治末頃から近代化が進んだことで馬がなくなり、摩耶詣も廃れてしまいました。神戸の伝統文化を保持する目的で、1993年より再開され、現在は近くの牧場の馬を借りて開催されており、例年多くの人でにぎわいます。



馬が境内を練り歩く摩耶詣  
(2025年3月開催の様子)

# うま かんけい しょくぶつめい 馬に関係のある植物名



馬酔木 (アセビ)

早春に咲くツツジ科の植物。馬が誤って食べて酔った(よろけた)ことに由来します。木全体に有毒成分が含まれ、人間にも有毒です。



アリマウマノスズクサ

果実の丸い部分が馬の首につける鈴に似ている。ありまほうで初めて見つかったことに由来します。

## アクティブ・レンジャーを出前授業に呼んでみませんか？

この記事を書いた兵庫県南部・瀬戸内海側にある神戸自然保護官事務所の中村(なかむら)です。自然の中で遊べる出前授業も行っています。

↓↓興味のある方は、お気軽に下記までご相談ください↓↓

環境省 神戸自然保護官事務所 TEL: 078-331-1146 FAX: 078-331-1148  
竹野自然保護官事務所 TEL: 0796-47-0236 FAX: 0796-47-0249

